

水 土 里 レ ポ ー ト

投稿月日	令和5年6月1日(木)
タイトル	田んぼの学校 田植え体験会
水土里レポーター名	北海道ふるさと・水と土指導員会 小野寺 孝 一

町民田植祭(例年500名で実施)は中止になりましたが、令和5年5月29日(月)午前10時気温20℃で汗ばむような条件の中で、感染対策として規模縮小し、当麻小学校4～6年生(137名)及び宇園別小学校児童(8名)が村椿哲朗町長の挨拶後、1.2haの町有田に「きたくりん」の苗を1時間ほど植えました。(photo:1)



感染症対策の為、3年間で中止になり、6年生は2回目の体験でしたが4年生と5年生は初めての体験となりました。

4年生の中にはぬかるみに足を取られて転倒し泥だらけになる児童が数名いました。(photo:2)



5年生の男子は最初転びそうになったが、徐々に慣れて楽しく植えることが出来て、秋になって新米を早く給食で食べたいなあ〜と云っていました☺️(photo:3)

令和8年3月閉校予定の当麻町立宇園別小学校6年生2名、5年生3名、4年生3名の児童(全校生8名)も田植え体験に参加しました。

宇園別小学校の子どもたちは収穫体験は3回、田植え体験は2回のみですね。少子化でしょうかがないか↪

色々沢山体験して吸収して欲しいものです。



10月初旬開催される収穫祭では1年間小・中学校児童・生徒(420名)の給食で食べる約7,400kgのお米を刈取ります。

刈り取ったお米はJA当麻のカントリーエレベーターにあずかり、その都度精米してもらい今搦米(いまづりまい)として美味しくいただきます🍴